

議 会

なかたね町

だより

第139号 平成28年5月10日発行

平成28年第1回定例会

平成28年度当初予算 ②～④

平成27年度補正予算 ⑤

一般質問（7人） ⑥～⑫

所管事務調査 ⑬

条例・陳情・その他・一部事務 ⑭～⑮

議会の動き・編集後記 ⑯



～子どもたちの笑顔を地域の力に～
『坂井公園を活性化させよう会』による こいのぼりイベント

平成28年3月定例会

3月定例会は、3月8日に招集され、3月25日までの18日間の会期で開かれました。

初日は、総務文教常任委員長の所管事務調査報告、専決処分の承認1件、条例の改正及び平成27年度一般会計補正予算(第6号)など31議案を原案どおり可決しました。

また、平成28年度当初予算7件と陳情2件を各常任委員会へ付託しました。

2日目(22日)は、7人(日高和典・池山朝生・園中孝夫・下田敬三・永濱一則・戸田和代・徳永紹道)の議員から一般質問がありました。

最終日(25日)は、条例等3件、平成27年度一般会計補正予算(第7号)、各常任委員会へ付託された当初予算7件を原案どおり可決しました。

また、陳情2件を採択の上、発議2件を可決しました。

平成28年度一般会計当初予算

本 年度の一般会計当初予算は、66億7,900万円となりました。前年度は、町長及び町議会議員選挙の年であったことから骨格予算として編成してありましたが、肉付け後の6月補正予算と比較して、0.8%(5,200万円)の減額です。

主 なものについては人件費及び公債費等の義務的経費が構成比40.5%、普通建設事業費等の投資的経費は、道路改良舗装事業(1億9,700万円)、デジタル防災行政無線整備事業(1億4,600万円)などで18%です。

公 債費(借金返済)については、7億6,500万円、本年度末借入残高見込は、76億6,200万円です。

基 金(貯金)残高については、財政調整基金・減債基金等の取り崩し約6億8,900万円を予定し、これを差し引いた残高見込額は、13億4,800万円です。

そ の他の特別会計及び事業会計の予算状況は、別表のとおりです。

平成28年度一般会計当初予算 66億7,900万円

別表

会計名	予算額	対前年度比較 (6月補正後)	伸び率	
一般会計	66億7,900万円	▲5,233	▲0.8	
特別会計	国民健康保険事業勘定	15億6,633万円	4,383万円	2.9
	と畜場	371万円	1万円	0.2
	簡易水道事業	3億2,936万円	6,688万円	26.0
	介護保険事業勘定	10億5,871万円	512万円	0.5
	後期高齢者医療	1億3,582万円	▲80万円	▲0.1
水道事業会計(収益的収支)	1億8,022万円	▲1,579万円	▲8.1	

施政方針



施政方針とは、町長の町政運営に対する基本姿勢や今年度の重要施策、予算編成の基本方針を説明したものです。

農林水産業を機軸にさまざまな施策を持って安定した所得を目指し、観光や企業誘致等で更なる雇用を生み出し、この意識を職員と共有し町民の皆様の声に耳を傾けながら、より効率的な行政運営に当たっていくと説明しました。

第一に、農林水産業の振興と商工業の活性化。

第二に、医療・介護・福祉の充実。

第三に、人づくりのための教育の充実。

第四に、安心して暮らせるまちづくり。

予算委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

社会教育課

問 古い図書はどのような状態にあるか。

答 特に傷んでいる図書は廃棄処分しています。貯蔵庫に保管している図書もあります。

問 合宿者に対する宿泊補助に上限を設けているが、いくらか。

答 民間施設宿泊の場合

1人1泊2000円で上限60万円。公共施設1人1泊1000円で上限15万円としている。

問 歴史民俗資料館の入館者数は。

答 現在583名。26年度は656名。入館者の増に向け努めます。

税務課

問 住宅新築の固定資産評価の算定は。

答 給食の提供量から積算しています。

水道課

問 簡易水道管理費の増額理由は。

答 上水道事業経営変更認可申請作業委託の増によるものです。

給食センター

問 小学校と中学校の給食費補助額の違いは。

答 2社による指名競争入札です。

企画課

問 以前の地域支援交付金との違いは。

答 地域コミュニティ組織（集落の青壮年部等）と集落が共同して実施する場合を追加しています。対象事業に歴史を追加し、地域公民館等拠点施設の維持補修を削除しています。

問 集落と地域コミュニティ組織が新規に活動を実施した場合は、両方交付されるのか。

答 交付対象となります。

問 地域おこし協力隊の人員は何名か。

答 地域対策として2名、観光支援で1名、計3名です。

教育総務課

問 スクールバスの入札方法は。

答 2社による指名競争入札です。

総務課

問 インフルエンザ対応の手洗い機器について、安価なものであれば設置してもらいたい。

答 設置については検討します。

問 ふれあいの里の炭焼き施設は撤去か。

答 撤去で計画しています。

問 災害対策費の減額理由は。

答 デジタル無線の事業量の減額です。

産業厚生常任委員会

農林水産課

問 地域畜産振興事業費の減額理由は。

答 27年度は、畜舎建設の大きな事業があったが、28年度から新たな事業が開始されます。2年目からは畜舎建設も始まります。

問 粗飼料のWCSは、中種子町では水田の何%が転用しているか。

また、ジビエ開発販売促進事業はどのような形か。ニガダケ生産の事業については。

※ジビエ：狩猟で捕獲された野生鳥獣の食肉。

答 WCSは、中種子では徐々に増えてきています。水田面積の4〜5%です。

ジビエについては、食肉として使えるかを県薬剤師会に依頼し、調査を行います。

ニガダケについては、竹林整備と市場調



▲総務文教所管予算委員会

査を進めていきます。

問 農振地域の全体見直しについては。

答 方針として、転用の可能性があるところは農振地域からの除外を検討します。28年度中に地元説明会を開催します。

福祉環境課

問 中学卒業までの医療費助成についての意見があるか。

答 7月から無料化になったということ、たいへん助かるという意見があります。

問 特養施設に入所希望者の数は把握しているか。

答 南界園に30名程度の待ちとなっています。

問 海岸漂着物の業務委託先は。

答 シルバー人材センターに委託しています。10

月頃から2月末まで収集・分別を実施しています。

問 小地域ケア会議は、どのような方が入っているのか。

答 校区長、集落長、老人クラブ会長、近隣福祉ネットワークに登録している婦人会長、消防団長となっています。

問 元気度アップ事業の登録人数は。

答 757名が申請しています。

建設課

問 町道原之里線は年次に実施していくのか。

答 年次的に実施していきます。完成は、長期振興計画では32年度となっています。

農地整備課

問 多面的機能支払交付金は、ずっと継続できるのか。

答 最低5年間は実施していただきたいということを進めています。27年度に法制化されましたので、希望すれば継続ができると思います。

問 28年度の地籍調査は何月頃から開始されるのか。

答 地元説明会を5月、現地立会を7月、一筆調査を9月頃から開始したいと思っています。

町民保健課

問 巡回検診受診者数と人間ドック受診者数は。

答 特定健診と長寿健診で1200名程度となっています。人間ドックは、国保で220名、後期高齢で50名程度となっています。

問 ジェネリック医薬品について。

答 ジェネリック医薬品に替えた場合の経費に

ついて通知しています。医療機関へも厚生労働省からの通知があった際には協力依頼を行っています。また、健診の結果報告会等でも啓発に努めています。

農業委員会

問 どれぐらいの基準で遊休農地と判断しているのか。

答 1年以上耕作していない。また、若干管理が低い農地を遊休農地として判断しています。10年以上荒れているところは耕作放棄地として調査しています。



▲産業厚生所管予算委員会

平成28年度
当初予算の主なもの



精脱穀施設整備事業 13,369万円



ニガダケ生産施設整備事業 305万円



農道改良舗装事業(中山他2地区) 9,049万円



道路改良舗装事業(坂井熊野線他) 16,260万円



町立体育館大規模改修事業 8,662万円



種子島こりな舞台照明設備改修事業 6,607万円

平成27年度補正予算

一般会計補正予算 (第6号)

今回の補正は、人事院勧告に伴う職員給の調整と各事業費の確定(見込み)、補助金交付決定による計上。一部、国補正予算(第1号)による経費を増額。また、前回の補正予算以降必要となった経費の追加、事業量の決定、変更等による執行残額等の減額が主なものです。

歳入

「町税」は、法人税割の減額。「地方交付税」は、普通交付税の追加交付による増額。「国庫支出金」は、国の補正及び交付決定等による増額。「県支出金」は、農業公社精脱葉施設及び災害復旧費県補助金の減額と交付決定等による増額。「財産収入」は、風力発電施設稼働停止による減額。「寄附金」は、農業公

歳出

社精脱葉施設へのJAからの寄附金の減額とふるさと納税の見込額を計上。「繰入金」は、減債基金への繰戻。「諸収入」は、主に畜産担い手育成総合整備事業個人負担金の増額。「町債」は、事業の変更に伴う調整です。

「総務費」は、風力発電施設の修繕と国の補正に伴うネットワーク強化事業及び個人番号カード交付事業費の増額。「民生費」は、国保特別会計繰出金のほか、各事業の実績見込みによる減額。「衛生費」は、種子島産婦人科医院負担金(建設費)の事業費確定と後期高齢者医療特別会計繰出金及び各事業の実績見込みによる減額。「農林水産業費」は、農業公社精脱葉施設が国の予算が確保できなかったことによる減額及び各事業補助金等の確定による減額。「商工費」は、商工業者への利子補給及び信用保証料補助の実績見込みによる減額。「土木費」は、県営事業負担金の最終内示による減額と工事請負費・委託料等の組み替え及び執行残の減額。「教育費」は、埋蔵文化財発掘調査費で、事業量の減少による減額。「災害復旧費」は、農業用施設等災害復旧工事費の確定見込みによる減額です。

一般会計補正予算 (第7号)

国の補正予算(第1号)に伴う経費と人事院勧告に基づく人件費を追加するものです。

歳入

「国庫補助金」は、町立体育館耐震補強工事に伴う学校施設環境改善交付金と地方創生加速化交付金の増額。「繰入金」は、財源調整のため

減債基金を増額していません。

歳出

「総務費」は、「移住定住推進によるなかたねまちづくり再生プロジェクト事業」として、お試し移住・定住促進パンフレット作成、空き家実態調査及び空き家対策計画策定業務、航空写真システム導入委託費の増額。また、地域支援交付金の増額。「農林水産業費」は、ノコギリガザミ・アワビの養殖技術確立に向けた「産官学連携によるオンラインワン地域水産資源開発事業」費の増額。「商工費」は、「ALL種子島広域観光推進事業」として、種子島観光協会への負担金の増額。

各会計ごとの補正額及び補正後の額は別表のとおりです。

平成27年度会計別予算額

別表

会計名 (補正号数)	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第6号)	▲2億3,603万円	67億6,973万円
(第7号)	9,597万円	68億6,570万円
特別会計		
国民健康保険会計 (第4号)	▲970万円	15億6,556万円
簡易水道事業会計 (第4号)	▲3,700万円	2億2,394万円
介護保険事業会計 (第4号)	▲29万円	10億5,080万円
後期高齢者医療会計 (第4号)	▲138万円	1億4,106万円
水道事業会計(収益的支出) (第3号)	▲700万円	1億7,845万円

※ALL(オール) 種子島広域観光推進事業
1市2町共同で行う事業、プロモーション事業やブラッシュアップ事業(さらに磨きあげる)、旅行券発行事業を行う。



遊休農地対策

本町の遊休農地の現状と取り組みは

町長／農地利用状況調査を実施し、遊休農地の把握に努めている。



田淵川 寿広 町長

大限に有効活用されるように努めます。

日高 和典 議員

遊休農地の現状と取り組みは。

遊休農地は平成27年度で32.8haあり、ここ数年においては基盤整備済みの優良農地においても、遊休化した農地が散見される状況です。

5年後、10年後の本町の農業はどうなるのか。遊休農地・耕作放棄地は積極的に手立てを行い、農業に従事すべきである。有効活用についての見解は。

町長 影響を及ぼす恐れがある品目は、米・甘味資源作物・畜産ではないかと考えます。農家

TPP経済効果に伴う計画と対策は。

TPP経済効果に伴う計画と対策は。

町長 国は、生産や農家所得が確保され、国内生産量が維持されると見込み、国内生産減少額を878億円から1516億円と試算しています。県は、確たる数値として影響額を算出するには、もう少し時間がかかるとして公表に至っておりません。県の影響額試算が公表された段階で確実な試算を行います。メリット、デメリットについても、もう少し時間をいただきたいと思えます。

町長 産業振興・観光振興を図る上からも、早急な整備が望まれると認識しています。私も随時、熊毛支庁、県庁、九州地方整備局に向き、しっかりと要望を続けます。

町長 陳情は向上心を持ち、国・県に対し、しっかりと行う必要がある。

町長 種子島中央高校対策

町長 種子島中央高校

町長 種子島中央高校

町長 種子島中央高校

◆TPP対策

の皆様が安心して経営を継続できる環境整備を図るため、関係団体の意見等を踏まえ、国に対して必要な政策要求を行います。

◆県道西之表南種子線整備

県に、増田地区・坂井熊野地区の道路整備の陳情を行った。町長の認識と整備促進への見解は。

産業振興・観光振興を図る上からも、早急な整備が望まれると認識しています。私も随時、熊毛支庁、県庁、九州地方整備局に向き、しっかりと要望を続けます。

陳情は向上心を持ち、国・県に対し、しっかりと行う必要がある。

◆種子島中央高校対策

種子島中央高校



中脇 努 教育長

入学状況と今後の計画・対策は。

教育長 3月16日の合格発表は、普通科定員80名に対して77名、情報処理科定員40名に対して22名でした。2月に校長・教頭先生、事務長、PTA会長、町P連会長を交えて意見交換の場を設けました。本町唯一の高等学校として多くの町民の期待があり、今後も活力ある町づくり

に貢献していただくことや通学の利便性、保護者の経済的負担の軽減等の面からも、その存在が大きいという事で共通理解を図ったところで、今後、学力向上や教職員資質向上等、教育活動の中高連携を図り、町の広報紙等も活用しながら種子島中央高校の

◆県立博物館企画展

県立博物館で開催された「種子島の自然」の提供資料の説明を。

本町からは丸木船の模型、レーザーリフファン、松ぼっくり、トコブシの貝殻を提供しました。

ベストな資料の提供で情報発信を行う事がこれからの町の発展につながる。教育長の熱い想いで取り組んでもらいたい。



▲企画展「種子島の自然」



キビ・甘藷単収向上対策

キビ・甘藷の単収向上対策は

町長／高単収の肥培管理技術をマニュアル化し、情報の提供を図る。

池山 朝生 議員

池山 町単独事業のサトウキビ作地力増進事業は農家負担が60%である。農家の現状は、肥料を買いたくても買えないほど疲弊している。その中で60%の負担は大きすぎる。負担軽減措置を講じてもらいた

2年続けてのキビの不作、現状認識は町長／農家は収入減で、心痛な気持ちでいる

町長 土づくりと優良種苗導入、肥培管理を推進してはいますが、キビについては不作が続いています。しかし単収8トン以上の農家もいます。このことを踏まえ、肥培管理の再確認として高単収農家の肥培管理技術をマニュアル化し情報提供を図ります。甘藷については、育苗施設整備事業で植え付けの早進化を促進します。また、町単独事業のサトウキビ作地力増進事業を続けて実施します。

池山 施政方針で農林水産業を基軸にさまざまな施策をもって安定した所得を目指す。特にキビ・甘藷の単収向上を図ると言っているが、具体的方策は。

池山 5つの一部事務組合(公立病院・産婦人

科医院・広域事務・中南衛生・消防)がある。各組合への本町の負担額は、平成25年度で4億7000万円であり今年度はさらに膨らんで5億円になる。また、公立病院の累積赤字は6億1300万円であり、27年度の損失は6000万円になる見込みである。まさに危機的状況だが、この数字から経営を改めてどう考えるか。

町長 平成26年度までは、病院建設に係る返済は現金等の資金があったために、この資金からの支払いをしていました。その資金がなくなったため、平成27年度9月補正で4600万円の増額をし返済に充てました。今後も償還期限までは継続して計上しなければならぬものです。

病院経営は危機的状況か 町長／このままでは厳しいと認識している。

町長 負担軽減に向けて前向きに検討していきます。耕畜連携に関しては、関係団体と協議して早急に進めます。

い。また、早急に耕畜連携システムに取り組み農家へ安価な堆肥の供給ができる体制づくりを進めてもらいたい。

池山 病院建設に係る償還(返済)は21年度から始まり、45年までである。返済残額は27年度で24億円ある。医師確保は他の自治体も抱えている課題であるが、患者に対する対応等院内のサービスなど、できる改善はすぐにする。病院問題をなおざりすると中種子町の命取りになることを強く指摘しておく。

池山 公立種子島病院への一般会計からの負担金が昨年度にくらべて2倍以上の5000万円超となっている。副管理者として病院経営にどう取り組むのか。

町長 医師不足による午前のみの診療やスタッフの対応も含め満足できる医療サービスの提供ができないと繰出金が膨らみ赤字が累積していくことになりま

池山 公立種子島病院への一般会計からの負担金が昨年度にくらべて2倍以上の5000万円超となっている。副管理者として病院経営にどう取り組むのか。

町長 医師不足による午前のみの診療やスタッフの対応も含め満足できる医療サービスの提供ができないと繰出金が膨らみ赤字が累積していくことになりま

池山 ハマグリを資源保護と観光資源の活用から一定期間規制して育て開放する。この事業を町民に協力をお願いし取り組むべきでは。

池山 町民の財産である公有財産管理は適正に行われているか。ヒラメ養殖場跡地のこれまでの経緯と現状、今後この跡地は財産管理上どうするのか。

町長 和泉農工水産株式会社へ昭和62年にヒラメ養殖を目的に田島苦浜地区の町有地3万8143㎡を年額31万2000円の5年間で契約しました。5年経過後の平成5年から10年まで再度貸付契約を締結しました。しかし業績

池山 町民の財産である公有財産管理は適正に行われているか。ヒラメ養殖場跡地のこれまでの経緯と現状、今後この跡地は財産管理上どうするのか。

町長 農林漁業と連携した体験観光や交流推進を図る上でも取り組みが必要があると考えます。関係団体等と協力しながらしっかりと進めます。

池山 ハマグリを資源保護と観光資源の活用から一定期間規制して育て開放する。この事業を町民に協力をお願いし取り組むべきでは。

長浜海岸のハマグリの規制保護、開放を町長／町民に協力を呼びかける

池山 隣接する道路は通学路でもある。残骸が飛んできて事故が起きたら賠償問題である。町有地である以上早急に安全対策を講じる事。町公有財産管理規則による適正かつ効果的な維持管理に努めるよう強く要望しておく。

町長 土地にある施設等を町が撤去する場合莫大な費用がかかりますが、このまま放置もできないと考えています。

池山 請求権の時効は5年である。すでに時効で請求はできない。今後、跡地はどうするのか。

町長 請求していません。

池山 契約書には連帯保証人が書かれているが保証人への請求は行ったか。

不振により平成7年に養殖場は閉鎖となりました。建物等の撤去を行い現状に復した上で返す約束でしたが残骸が残ったままです。



園中 孝夫 議員

法改正により介護サービスが受けられないおそれがある。それに対して町の取組みは。

介護サービス

町長／必要なサービス作りを検討する。

園中 今まで受けていた介護サービスが法改正により町に移行になるが、町の取組みは。

町長 対象者の状態に応じたサービスを受けることができる体制づくりをしていきたいと考えています。また、地域で暮らし続けるために、地域のさまざまな課題等についても協議を行っているところです。

園中 今回の改正により、町の介護に対する負担が増える事については。

町長 困っている町民の皆様をサポートするような考えでおります。財政的には厳しいですが、少しでも支援をしていくような策を検討していきたいと、現時点では考えています。

園中 高齢者に身体的な支援だけではなく、尊厳を保つサービス提供が必要では。

町長 家で家族と暮らす高齢者の方々の心情も察しながら、介護者にも講習であったり勉強会であったり、そういったことも含め、困窮している方には町も財政として拠出し、手助けするところはしっかりと手助けしていかなければならないと考えています。

園中 今回の改定により、いかに元気な高齢者を育てるかが課題だが、その取組みは。

町長 元気な高齢者が増えることにより医療費の抑制にもつながるので、健康体操教室などいろんなサークルの人たちを中心に取り組ん

でもらっています。また、高齢者の興味であったり意識を向上させながら、介護予防事業を進めて行きたいと考えています。

園中 そのためには老人クラブを育て育成していくことが最優先ではないか。

町長 町内の高齢者の皆さんが活躍しながら健康増進・元気な体づくりのためにも有効なことだと思います。そのことが中種子町の発展にもつながると思うので、活性化交付金とかも視野にいれながら、相談や行動へのサポートをしていくということも大切であり必要な事と考えています。

納官浦の災害復旧工事の遅れはどうしてか町長／不安を払拭できるように対応する。

園中 毎年毎年災害復旧工事が遅れる理由は

町長 被災地の復旧や維持補修的な復旧においては、現場を見極めて、危険度や緊急性を見ながら優先順位に基づき対応していくことにしています。予算不足で

対応できないところは、補正予算を組みながら対応しているところですが、農家に対し不安を抱かせるような事実があったとしたらお詫びを申し上げたいと思います。今後不安を払拭できるような対策を講じ、職員・業者にも地権者との連絡を密に取って不安を解消するよう努力・指導していきたいと思っております。



▲納官浦



下田 敬三 議員

TPP対策

TPP関連への政府の対応への感想は。

町長／政府の動向をみながら関係団体とで対応する。

下田 TPP交渉の結果が発表されているが、重要5品目の除外もできなかつた政府の姿勢への感想は。

町長 政府から協定案の公表がなされ、合意内容の丁寧な説明と国内経営安定対策の充実に努めるとしています。しかし、TPP対策として27年度補正・28年度予算が示されていますが、充てられるものとも思えません。

今後の政府の動向を踏まえ、関係団体と地域農業の発展のための要望をいたします。また、その結果によっては、TPPからの脱退要望も視野に入れて対応します。

今後の、農業の方向性について

町長／長期振興計画に沿って進める

下田 TPP協定発効後の7年後に、『日本の関税撤廃を免れた農産品の完全撤廃に向け再協議をすること』が判明したが、これらも含め、今後の町の農業施策の方向性は。

町長 長期振興計画で掲げた基本的方向を構想の軸として、農業で伸びゆく町づくりを目指します。その中の担い手対策として、農業機械等のオペレーターなどに、女性の研修事業等を設け、基幹産業に女性の現場活躍の場を創り、持続可能な農業発展に努めます。また、農業の発展により、他の産業への経

済的波及効果も生じることから、豊かさを実感できる農業施策を推進します。

複合経営の必要性は町長／裏作・輪作も含め、拡充の必要がある

下田 この数年、基幹作物の減収が目立ち、花き園芸や畜産の複合経営農家は、その減収の埋め合わせもあるかと思う。このような複合経営の必要性は。

町長 リスク回避の面からも、基幹作物と平行した栽培体系による経営安定を図る上でも必要です。新たな作物の選定を調査・研究し、裏作・輪作の拡充も含め早急に対処します。

町長 地元には、薬草試験場もあり、栽培指導、情報収集も期待できるが、他の作物の選定、試験栽培等、今後慎重に検討します。



▲スナップエンドウ

◆キビ対策事業

下田 きびの低単収への町単独支援事業は。

町長 既存の単独事業を継続し、堆肥の活用など栽培技術の励行・品種構成の見直し・輪作の徹底に努めます。

◆薬草栽培

下田 きび・甘藷の栽培面積は、工場が存続する限り崩せない。6次産業も今は厳しい。複合経営の新たな作物として、漢方生薬の栽培の検討は。



▲キビ収穫状況

介護・福祉

介護・福祉への今後の取り組みについて。

町長／医療・介護はスピーディーで、真心ある対応が必要。



永演 一則 議員

永演 公約の「高齢者が安心して暮らせるまち」とはどんな町か。

町長 元気な人も安心して健康増進に努めて

いける形づくりをし、医療・介護については、素早く真心を持って相談に応じ住みよい町にします。

永演 入所したくても順番待ち、ましては団塊世代の到来に備え、施設新設の考えは。

町長 今後、急激な増加の可能性は低いと判断し、新設・増床は、介護給付費及び介護保険料抑制の観点から29年度までの第6期計画に盛り込むことは見送りました。今後、人口の動

向も踏まえながら、それ以降の計画の中で十分審議をし、進めていく問題だと認識しております。

永演 入所できず、年寄りが高齢者を在宅介護している実態があるが、町から介護4以上の方々に支援はできないものか。

町長 65歳未満の障害者には月50000円の支給と、住民非課税の世帯にオムツなど介護用品を支給をしています。また、自己負担額が高額になって限度額を超えた分は、高額介護給付の対象となり、介護保険から差額が支給されます。

町長 単独の補助も念頭に置きながら個人の負担軽減に努力をします。

永演 中種子町全体で介護4以上の方は何名か。

福祉環境課長 1月末現在で要介護4、97名、要介護5、81名。全体の介護認定者数は624名です。

永演 週3のデイケア、それ以外毎日のヘルパー。年金者には痛い出費、負担軽減を期待します。

永演 離職率の高い介護職員の処遇改善策を講ずるべきと思うが。

町長 このことは全国的な問題です。中種子町としても創生総合戦略において医療・福祉等への奨学金優遇処置制

度、各種学校への実習フィールドの提供を計画しています。地域密着型サービスとして、施設職員が安心して働き続けるために、気軽に相談や意見交換を通じて、働きやすい職場づくりに支援をしていきます。

永演 全国の問題ゆえに、隣接する市町、地域一帯となって県から国へ働きかけてもらうような要望が必要である。

◆防災無線

永演 町内には屋外防災無線未設置集落が4割ある。昼間の緊急時に対応できない。今後、要請があった地域への設置の考えは。

町長 27年度は、屋外拡声子局33カ所と戸別受信機2500台を整備し、28年度は、戸別受信機1000台と既存施設の撤去を行い、全体で屋外拡声子局38カ所と戸別受信機4000台を整備して予定終了です。今後、要請があった時点で電波調査、地理上この地域が要望しているかなども含め、調査に移行するかどうかを判断する必要があると思います。

永演 ぜひ、前向きな検討をお願いしたい。



▲特別養護老人ホーム南界園



町民体育祭

町民体育祭のマスゲームについて。

町長／再度各校区や女性団体の意見を伺う。

戸田 和代 議員

戸田 町民体育祭は地域おこしの一環。保育所、小学校、中学校の体育祭や成人式には全体

町長 町民体育祭を盛

戸田 町民体育祭は、古いも若きも一堂に集う中種子町最大のイベントである。マスゲームが、プログラムから削除されていた原因は、

戸田 町民体育祭は、「よいらーいき音頭」を踊った。町民体育祭に踊れなかったことは残念。女性団体協議会の中でも協議されたが、聞いて

戸田 中種子町の高齢化率は35%に達してきている。人口減少とともに商店がなくなり、大字地区では買い物に苦慮している。地域おこしの一環として、移動販売に手が

戸田 国も地方も地方創生に向けて各自治体が地域の問題点をつかみ、訪れる少子高齢化を乗り切ろうと動きはじめています。買い物弱者対策は緊急の課題です。町長は、施政方針の中でも、安心して暮らせる環境づくりに努めると述べているが。

町長 家事や子どもの世話で忙しい中、練習が大変との意見があり、また、体育祭に出てこなくなるのではとの心配や練習を必要としない踊りならいいのではと意見も出ましたが、結論として中止するということとで決定しました。

戸田 何事もやめることは簡単、起こすのは難しいもの。負担のかわらない「よいらーいき音頭」ぐらいは継承していくべき。

町長 一定規模の民間事業者、対象とする地域、事業の実施形態、民間ではできない場合の町財政の負担等、総合的に調査・検討します。

町長 検討する価値は十分あります。買い物に不便をされている大字の町民の皆様の解消につながれば、調査・研究していきたいと思えます。



▲町民体育祭マスゲーム

移動販売に手がける考えは
町長／総合的に調査・検討したい



徳永 紹道 議員

施政方針 T P P対策への町長の施政方針について。

町長／国会決議にそぐう方向性が中種子の農業にとって大切である。

徳永 町長は施政方針で、総理大臣の施政方針演説を引用して「T P P対策は政府が万全の対策を講ずると言っているから安心してください」と言わなければいかなかった。政府の説明を鵜呑みにして、中種子町の農業が発展できると考えているのか。

町長 安倍総理の言葉を施政方針で引用したことで勘違いされたり、聞き方によって自分の意識がないと言われることに関して、それはあくまで引用したということと理解を賜ればと思います。

T P P問題は国会決議で、米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要な品目について引き続き再生産可能となるよう除外または再協議の対象とすること、10年を超える期間をかけた関税

撤廃も認めないと明確に決議しております。これにそぐう方向性をしてもらうことが中種子の農業にとって大切だということ認識があります。熊毛の首長、熊毛支庁とも連携しながら、農家の皆さんの不利益が生じないよう懸命に要請活動をしていくつもりです。

徳永 農林水産課の職員、農業の専門家と十分に話しをして、今できる農業政策を決めて、自分の頭で考え行動してほしいと思います。

職務上の義務とは
町長／誠実な公務員として職務を全うすること

徳永 中種子町建設工事入札参加資格審査要綱は、副町長が委員長をして、総務課長・建設課長・建設課管理係長・

建築係長・土木港湾係長・農地整備課長・農林水産課長・水道課長等々、役場の幹部の職員が厳しい審査をします。建設課長は、どの業者がどういう資格を持っていて、どの工事はできるか、ここから先はできないということとは、資格審査の時点でわかるわけです。しかし建設課長は、下請はどうなっているのかと聞かれて、下請、孫請まで使用して工事は終わっているのに、下請業者はいなかったと嘘をついている。下請が発覚したら隠そう隠そうとした。副町長は、私の質問に対しては、誠実そして適正に業務を行ってきていると答えているが、これが誠実そして適正に業務を遂行している職員の姿勢だと思いますか。職務上の義務とは何を指すのですか。

町長 職務上の義務とは、大きな観点から申しますと町民の財産を守り、町民の福祉に貢献するといったところであって誠実な公務員としての職務を全うするということではないかと考えています。

徳永 職務上の義務とは、事務分掌でうたわれていることを指すんでしょう。

副町長 建設課の仕事について内容を書いているところと、職務上の専念義務というのはおそらく町民に対して公平かつ適正に仕事を推進していくことだと思います。

徳永 条例違反したら素直に認めて、それから先に進むためには反省して、失敗を取り返せばいいじゃないですか。

しっかり条例、法律に基づいて反省させるためにははじめが必要でしょう。副町長も建設課長も係長も技術職員も何の責任も取ろうとしない。町長は一定の処分をした。副町長はのうのうと副町長職に座っている場合じゃないでしょう。

副町長 これにつきましては告発もされました。住民監査も受けました。その中ですべてクリアしてきています。私は、何ら問題はなかったと思います。

徳永 二度と起こさせないために、副町長と建設課長、係長2名、技術職員の処分を明確にするよう強く指摘しておきます。

《所管事務調査報告》 総務文教常任委員会

学校教育の実態について

去る2月5日、教育委員会担当職員の出席を求め、学校教育の実態について調査をしました。

納官小学校

児童数10名（3学級）

教育目標は「夢に向かって学び続ける心豊かたたくましい納官の子の育成」であり、「めざす児童の姿・めざす学校の姿・めざす職員



▲納官小学校



▲油久小学校



▲野間小学校

の姿」の課題を挙げ、学校経営の重点として「確かな学力定着・向上」「思いやりと豊かな心の育成」「健康・安全教育の充実」「特色を生かし、信頼される学校づくりの推進」を目指しています。

油久小学校

児童数28名（3学級）

教育目標は「油久のよさを生かし、進んで学び、たくましく生きる力を備えた人間性豊

かな子どもを育てる」であり、学校の姿として「格調は高く、敷居は低く」、子どもの姿として「志は高く、思いは形に」、教師の姿として「仕事は厳しく、職場は楽しく」を重点課題に挙げています。

野間小学校

児童数276名（特別支援学級を含め13学級）

「広がる夢を輝く未来にかけよ」を校訓とし、教育目標は「やる気・思いやり・元気」を備えた「心豊かに、たくましく歩む野間の子の育成」であり重点指導

として「一人一人への確かな学力の定着」「教育活動全体を通じた道徳教育の推進」「心に届く生徒指導の推進」「心身の健康、より良い生活を目指す子どもの育成」を挙げています。

中種子中学校

児童数233名（7学級）

「風に向かって立つ」を校訓とし、教育目標は「心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲とたくましく生きる実践力をもち、豊かな感性を備えた生徒を育成する」であり、重点課題として「心の教育の充実」「確かな学力の定着」「積極的な生徒指導の充実」「教職員資質向上」「教育環境の整備・充実と安全確保」を挙げています。



▲中種子中学校

学校施設の整備補修

施設の整備補修については、各学校とも補修、改善を要する箇所が見受けられました。緊急性の高いものもあり児童・生徒の安全な教育環境を守るためにも早急な対策を講じられるよう望みます。

まとめ

本町における学校教育は、少子化により児童・生徒が減少する中、安心・安全な教育環境と質の高い教育内容の造成が、次代を担う子どもたちの健全な育成につながると思います。「生きる力」を育むために、学校、家庭、地域が一体となって相互に連携・協力しながら教育に取り組むことが必要である。という委員全員の一致した意見でした。

質疑

納官小学校では、子ども同士のトラブルや学力検査の実績、避難訓練について。油久小学校では、テレビ視聴、ゲーム使用などに対するノーマディアへの取り組み。野間小学校では、星原小学校・納官小学校との交流学习の現状とその反応。中種子中学校では不登校問題などの質疑がなされました。

条例

■中種子町税賦課徴収条例の一部改正

平成28年度与党税制改革大綱において、町民税及び特別土地保有税の減免申請については、個人番号の記載を要しないことを定めるものです。

■中種子町いじめ問題防止対策協議会設置条例

「いじめ防止対策推進法」が施行されたことに伴い条例を整備するものです。協議会及び専門委員会並びに調査委員会の所掌事務、組織、委員及び委員の任期などについて定めるものです。

■中種子町ふるさと応援基金条例

ふるさと納税寄附金及びかごしま応援寄附金を募り、魅力あるふるさとづくりを推進するため、条例を制定するものです。

■中種子町行政不服審査会条例

「行政不服審査法」等の施行に伴い条例を制定するものです。審査

会委員を5人以内、3年の任期とし、鹿児島市町村行政推進協議会で設置している情報公開・個人情報保護審査会と同様に運営し、諮問があったときに開催するものです。

■報酬及び費用弁償条例の一部改正

行政不服審査会会長の報酬額を月額180,000円、委員を150,000円とするものです。

■中種子町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険税の医療保険分及び後期高齢者支援金分の賦課限度額をそれぞれ2万円引き上げるほか、2割軽減世帯と5割軽減世帯の軽減所得基準額を引き上げるものです。

■中種子町国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部改正

貸付基金金を500万円から300万円に改正するものです。

■職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、職員の勤勉手当の0.1月分の増と、平成27年4月に遡り、給料

表を0.4%引き上げ改定するものです。

■中種子町役場課設置条例の一部改正

種子島空港の安全・安心な運行を期するため、現在の建設課から独立し、空港管理室を新設するものです。

■行政不服審査法の成功に伴う関係条例の整備

法律の施行に伴い、関係条例の「不服申立」を「審査請求」に改め、審査手続きに関する規定、審査会への諮問を除外条項を規定するものです。

■地方公務員法改正に伴う関係条例の整備

法律の改正に伴い、「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」「職員の給与に関する条例」「職員の旅費支給条例」の一部を改正するものです。

■中種子町人事行政運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

「地方公務員法」の改正に伴い、「人事評価の実施」を追加するものです。

■中種子町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

「行政不服審査法」の改正に伴い、手数料の額及び減免、決定書の作成の内容を規定するものです。

■中種子町指定地域密着型介護予防サービス事業人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な方法に関する基準を定める条例の全部改正

「地域における医療及び介護の総合的な確保推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一部施行に伴い、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等」の一部を改正する省令」が公布されたことによる全部改正です。

■中種子町指定地域密着型サービスの事業人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正

「地域における医療及び介護の総合的な確保推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一部施行に伴い、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等」の一部を改正する省令」が公布されたことによる全部改正です。

■なかたねふれあいの里の設置及び管理に関する条例の一部改正

ふれあいの里内の炭焼き施設については、

老朽化で使用不能のため廃止し、新たに黒糖づくり伝承館休憩所を追加するものです。

■種子島森林組合労務班運営資金貸付条例の一部改正

災害その他特別の理由により、森林組合が償還期限までに貸付金を償還することが著しく困難になったと認めるときは、貸付金の全部または一部において償還期限を5年以内とするものです。

■中種子町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

附則の適用区分を固定資産税価格等決定した場合の公示をした場合または、課税に重大な錯誤を発見した場合、審査をすることを規定したものです。

■町長等の給与の特例に関する条例

町財政の健全化の一助とするため、選挙公約であった、町長の給料を10%カット、副町長及び教育長の給料を5%カットするものです。

陳情

●精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情について

【陳情者】

種子島地区精神障がい者家族会種子島会員

磯保 紀代子

【発議者】

濱脇 重樹 外6名

【趣旨】採択

精神障がい者は全国的に身体障がい者や知的障がい者に適用されている交通運賃割引制度から除外されている状況にある。身体・知的障がい者には適用され、精神障がい者を除外し続けることは、憲法、条約、国内法の理念や条文にも反している。よって精神障がい者も身体障がい者や知的障がい者と同等に交通運賃割引制度の適用対象とすることを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

●種子島熊野漁港東側
潮通し及び消波ブロック
設置に関する意見書
採択の陳情について

【陳情者】

熊野漁業振興会長

川南 進

【発議者】

濱脇 重樹 外6名

【趣旨】採択

種子島熊野漁港は、
第4種漁港として種子
島における重要な避難
港として役割を担って
いる。しかし、同漁港は
漁港内外との海水交換
が不十分なため、生活
排水や泥水等が長年に
わたり流入した結果、
現在ではヘドロ等が堆
積し、港内環境の悪化
とそれに伴う漁港機能
が低下している。また、
漁港東側では、台風や
好天時に波浪が防潮堤
を超え、漁港内や道路
等へ岩石等が打ち上げ
られる事態が度々発生
している。

ついては、漁港内の
海水交換を促進し、ヘ
ドロ等の堆積を抑え、

港内環境の悪化を防ぐ
ために、漁港東岸と漁
港内とを結ぶ潮通し
と、この潮通しを保護
するとともに、漁港東
岸から防潮堤を超えて
港内へ進入する波浪を
防ぐ消波ブロックの整
備をあわせて要望す
る。

以上、地方自治法第
99条の規定により意見
書を提出します。

その他議案

■指定管理者の指定

中種子町漁村センタ
ー・中種子町漁民研修
施設・熊野蓄養殖施設・
熊野漁港給油施設・老
人福祉センターを、新
町自治公民館・浜津脇
自治公民館・種子島漁
業協同組合・中種子町
社会福祉協議会に、平
成28年4月1日から平
成33年3月31日まで指
定管理者に指定するも
のです。

■種子島産婦人科医院
組合の規約変更につい
て

種子島産婦人科医院
が平成28年5月1日付
けで移転開院すること
に伴い、組合の所在位
置を変更するもので
す。

■過疎地域自立促進計
画の策定

新たに策定する計画
は、これまでと同様に、
人口の減少、少子高齢
化などの現状を踏まえ
産業の振興のほか、交
通通信体系・情報化及
び地域間交流、生活環
境、保健・福祉、医療、
教育、集落に関する緒
課題への対策を講じ、
取り組みにあつては、
地方分権が進む中、こ
れまで以上に自らの個
性や創意工夫を生かし
た活力ある地域づくり
に取り組む体制への変
革が求められ、みんな
で地域を支え合う住民
参加型社会の好循環な
まちづくりを計画策定
するものです。

■中種子町道路線の廃
止について

増田・千草原ほ場整
備地区内で・県道西之
表南種子線の西側を通
る、町道差合せ糸吹線
が、農道千草1号線と
重複管理されており、当
該重複区間につきまし
ては農道としての機能
及び使用頻度が高いと
判断したため、町道差
合せ糸吹線の路線の全
部を廃止するもので
す。

■中種子町道路線の变
更について

町道赤石牟田線の一
部が農道津久良久保線
と重複管理されてお
り、当該重複区間を解
消するため、町道明石
牟田線の路線の終点を
変更するものです。

■人権擁護委員

中種子町人権擁護委
員として、花野進氏が
推薦、同意されました。

臨時会

◆教育長任命同意

●平成28年第1回臨時
会（平成28年4月12日）
北之園千春氏を教育
長に任命することにつ
いて同意が求められ、
無記名投票による採決
の結果、賛成12、反対
1で同意されました。
今後3年間の任期と
なります。



北之園 千春 氏

一部事務組合

◆熊毛地区消防組合議
会定例会

●28年第1回定例会（2
月29日）
平成28年度当初予算
は、総額9億2296万
円。前年度比1741万
円の増額です。

◆種子島地区広域事務
組合議会

●28年第1回定例会（2
月29日）

月29日）
平成28年度当初予算
は、総額7億559万
円。前年度比1649万
円の増額です。

◆種子島産婦人科医院
組合議会

●28年第1回定例会（2
月29日）
平成28年度当初予算
は、収益的収入及び支出
の収入は2億6567
万円、支出は3億821
万円。資本的支出は62
3万円です。

◆中南衛生管理組合議
会

●28年第1回定例会（2
月19日）
平成28年度当初予算
は、総額1億8351万
円。前年度比11万円の
減額です。

◆公立種子島病院組合
議会

●28年第1回定例会（2
月19日）
平成28年度当初予算
は、収益的収入及び支出
の収入は8億7344
万円、支出は9億661
万円。資本的収入及び支
出の収入は1億147
6万円、支出は1億15
76万円です。

議会傍聴においでください。

平成28年6月議会は15日に招集される予定です。

町民の皆様には、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。開会日前には、防災無線でお知らせします。

車いすでの傍聴が可能となります。

これまでは議場内の段差等により、車いすでの傍聴はできませんでしたが、多くの町民に議会の活動を知っていただくため、段差解消工事を実施します。6月議会から傍聴が可能となります。



議会の動き

26日	17日	12日	10日	8日	7日	6日	5日	4月	24日	20日	18日	15日	14日	10日	9日	8日	1日	3月					
スポーツ合宿誘致推進協議会	県政説明会	鹿兒島中種子会総会	第1回臨時会	近畿中種子会総会	種子島産婦人科医院落成式典	新旧行政連絡員会	転入教職員宣誓式	中種子養護学校入学式	種子島中央高校入学式	小・中学校入学式	たながしま留学生歓迎式	小・中学校入学式	小学卒業式	ロケットマラソン大会	県立中種子養護学校卒業式	中学校卒業式	議会運営委員会	春の戦没者追悼式	委員会(〜10日)	第1回定例会(〜25日まで)	議会運営委員会	種子島中央高校卒業式	
								4月	20日	17日	13日	12日	11日	4日	5月								
									種子島地区防犯協会総会	種子島屋久島振興協議会	種子屋久観光連絡協議会	総会	屋久島空港整備促進協議会	事務調査	総務文教常任委員会所管	員研修会	県町村議長会臨時総会議	郡議会議長会総会	自衛隊父兄会総会	県離島振興議長会研修会			

お知らせ

議会の映像中継について
中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニターテレビで本会議の様相を放映しています。
議場に入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。
(開会中に限ります)

編集後記

春爛漫、出会いと別れの季節となり、不安と期待に満ちた日々をお送りのことと思います。それぞれの道で頑張ってほしいものです。

さて、我が町においては、基幹作物の不作続き、減り続ける人口、高齢化、問題山積の中、議会としても喫緊の課題として取り組んでいるところであり、今議会も7名の議員がこれらの諸問題について、質問・要望がなされました。これらが絵に描いた餅でなく、少しでも実現するよう、議会一丸となって誠心誠意努めていきます。

おわりに、町民の皆様がますますご健勝にて活躍されますことを願っております。

- 広報編集委員
永濱 一則
- 広報編集委員会
委員長 日高 和典
副委員長 蓮子 信二
委員 戸田 和代
池山 朝生
永濱 一則
山元 みや子

